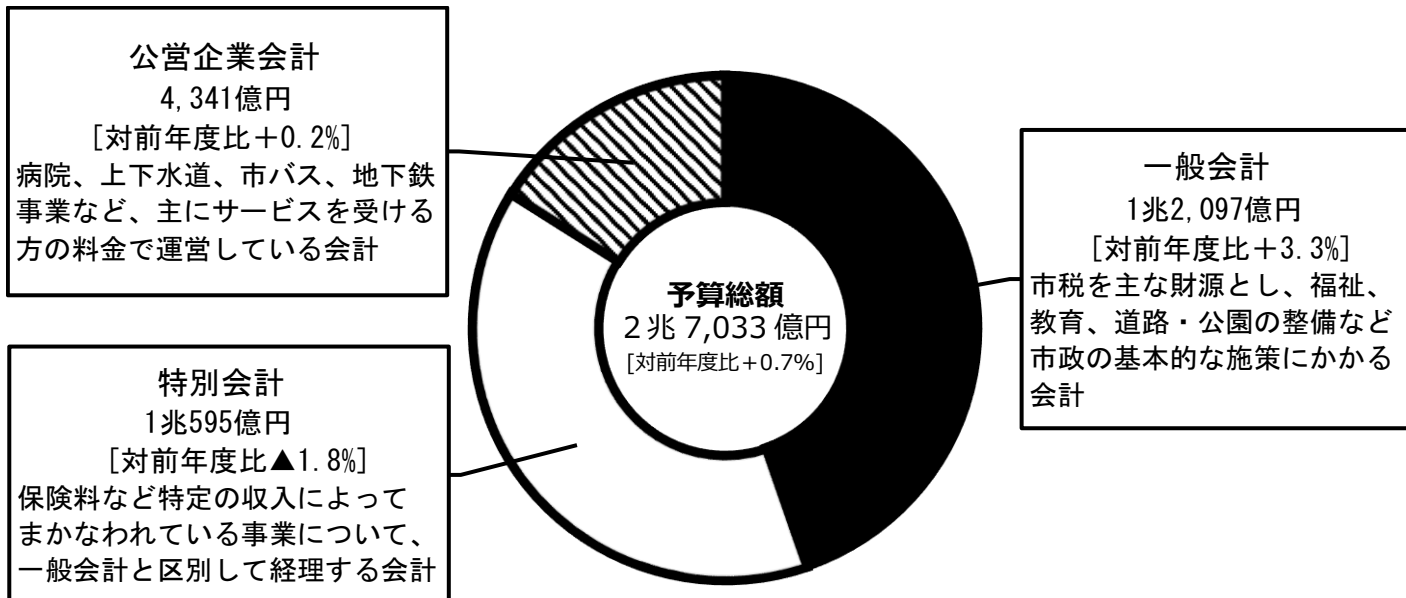


平成30年度予算の概要

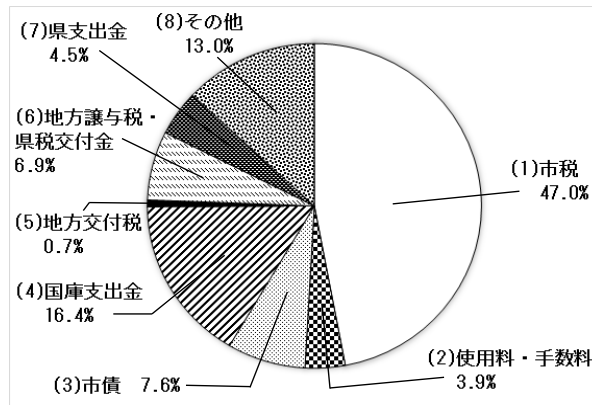
■予算の総額



■一般会計の歳入

区 分	30年度予算額	対前年度比
(1)市税	5,690億円	+11.3%
(2)使用料・手数料	468億円	▲1.5%
(3)市債	918億円	+18.3%
(4)国庫支出金	1,989億円	+0.6%
(5)地方交付税	80億円	+14.3%
(6)地方譲与税・県税交付金	830億円	▲36.2%
(7)県支出金	546億円	+2.0%
(8)その他	1,577億円	+7.5%
合 計	1兆2,097億円	+3.3%

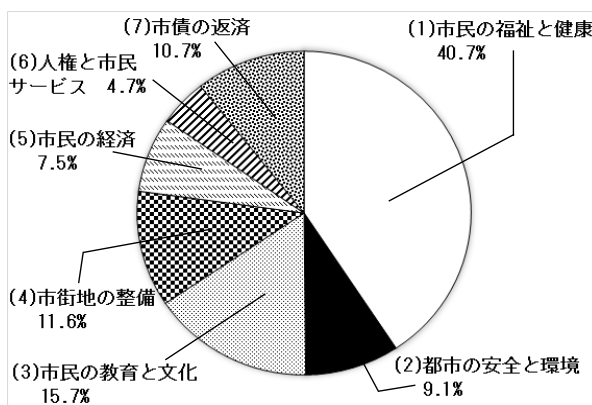
一般会計の歳入(1兆2,097億円)



■一般会計の歳出

区 分	30年度予算額	対前年度比
(1)市民の福祉と健康	4,926億円	+1.7%
(2)都市の安全と環境	1,104億円	+9.5%
(3)市民の教育と文化	1,905億円	+8.0%
(4)市街地の整備	1,401億円	+4.8%
(5)市民の経済	908億円	▲1.3%
(6)人権と市民サービス	566億円	+3.7%
(7)市債の返済	1,288億円	▲0.4%
合 計	1兆2,097億円	+3.3%

一般会計の歳出(1兆2,097億円)



(金額等は四捨五入していますので、合計額が一致しないところがあります。)

■一般会計の主な新規施策

(1)市民の福祉と健康

子ども・親総合支援 子どもや親に寄り添って総合的に支援し、子どもの将来の針路を応援するため、基金を設置し、子どもキャリアサポートモデル事業や家庭訪問型相談支援モデル事業などを実施	33億3,004万円
特定医療費の支給 難病に関する事務の権限移譲に伴い、特定医療費の支給に関する事務などを本市において新たに実施	22億6,518万円

(2)都市の安全と環境

名古屋駅周辺の救急需要への対応強化 名古屋駅周辺の救急需要への対応を強化するため、名古屋駅に救急隊を配備	3,321万円
区長公舎の借上げ 災害発生時に区長が迅速に参集し、区本部の初動体制を早期に確立するため、公舎を借上げ	4,322万円

(3)市民の教育と文化

小学校給食等におけるなごやめしの提供 名古屋の食文化に愛着と誇りを持ってもらうため、小学校給食等になごやめしの献立を導入	1億1,263万円
瑞穂公園体育館の建設 瑞穂運動場に体育館を建設し、災害時の緊急物資集配拠点としての機能も装備	2億2,890万円

(4)市街地の整備

可動式防護柵による大津通中央分離帯の整備 歩行者天国などが行われている白川通大津交差点付近において、可動式防護柵を設置し、イベント空間を創出	2,700万円
高齢者の運転免許自主返納の促進 高齢者の交通事故抑止のため、高齢者に対し運転免許の自主返納を促進するとともに、交通安全の啓発を実施	6,295万円

(5)市民の経済

首都圏でのデジタルサイネージを活用したPR事業 東京メトロ車内などにおいて、デジタルサイネージを活用し、名古屋への観光意欲を高める動画広告を掲載	1,573万円
名古屋城バリアフリー検討調査 名古屋城天守閣の木造復元に伴い、アクセスルートの現況調査やバリアフリー対策技術を有する企業や研究者などの調査を実施	2,000万円

(6)人権と市民サービス

アセットマネジメント基金の設置 将来における施設の再編整備などに要する費用の財源として活用するため、基金を設置	21億3,063万円
---	------------

(1万円未満は四捨五入しています。)

この定例会の概要(速報版)は、市ウェブサイト(市会情報)でもご覧いただけます。
市ウェブサイト(市会情報)〔アドレス<http://www.city.nagoya.jp/shikai/>〕からお入り下さい。